

2) 医療区分の分類案

医療区分1	医療区分2	医療区分3
医療区分3、2に該当しない者	医療区分3に該当しない者のうち以下のいずれかの条件に該当する者	以下のいずれかの条件に該当する者
	<p>【疾患・状態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多発性硬化症 (ADL11 以上) ● パーキンソン病関連疾患 (ADL11 以上) ● その他神経難病 ● 神経難病以外の難病 ● 脊髄損傷 (四肢麻痺がみられる状態) ● 肺気腫/慢性閉塞性肺疾患 (COPD) (Hugh Jones V 度の状態) ● 疼痛コントロールが必要な悪性腫瘍 ● 肺炎 ● 尿路感染症 (「発熱」、「細菌尿」、「白血球尿 (>10/HPF)」の全てに該当する場合) ● 創感染 ● リハビリテーションが必要な疾患が発症してから 30 日以内 ● 脱水 (舌の乾燥、皮膚の乾燥の両方ともみられるもの) ● 体内出血 (持続するもの (例)「黒色便」、「コーヒー残渣様嘔吐」、「喀血」、「痔核を除く持続性の便潜血陽性」) ● 頻回の嘔吐 (1 日 1 回以上を 7 日間のうち 3 日以上) ● 褥瘡 (2 度以上又は 2 箇所以上) ● うっ血性潰瘍 (末梢循環障害による下肢末端の開放創: 2 度以上) ● せん妄の兆候^{注1} ● うつ状態^{注2} ● 暴行が毎日みられる状態 	<p>【疾患・状態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医師及び看護師による 24 時間体制での監視・管理を要する状態 <p>【医療処置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中心静脈栄養 (消化管異常、悪性腫瘍等により消化管からの栄養摂取が困難な場合) ● 24 時間持続点滴 ● レスピレーター使用 ● ドレーン法・胸腹腔洗浄 ● 発熱を伴う場合の気管切開、気管内挿管のケア ● 酸素療法 (安静時、睡眠時、運動負荷いずれかで SaO₂ 90%以下) ● 感染隔離室におけるケア